

# <参考> 公共交通利便性向上等の取組（運賃負担軽減策（オフピークパス））①

令和8年3月から、1日1,000円で購入できる公共交通の1日乗車券「オフピークパス」が開始されたことから、認知度向上を図るとともに、便利に活用できることを訴求することが望ましい。



**オフピークパス OFF PEAK PASS**  
 平日も休日も朝9時以降なら、宇都宮まるごと乗り放題！  
 1日1,000円（小児は500円）で購入できる公共交通の1日乗車券のことで、朝9時以降ならライトライン（全線）や路線バス（市内）、地域内交通を定額で何度も自由に乗り降りできます。【利用の留意点はございません。当日限り有効】

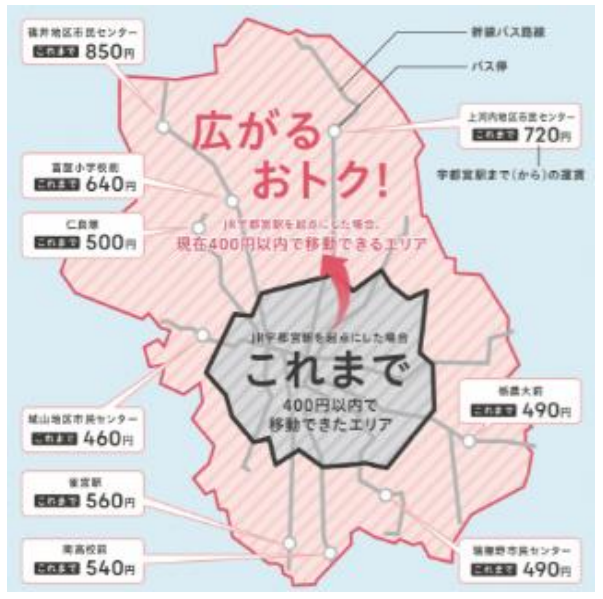
**販売金額（税込）**  
 大人 1,000円  
 小児 500円

購入方法：交通系ICカード（totoca・Suica・PASMOのみ）でのお支払いとなります。

POINT1 利用可能エリア：ライトライン（全線）・路線バス（市内）・地域内交通

POINT2 利用（乗車）時間：朝9時以降

お問い合わせ：宇都宮市 交通政策課 028-632-2160



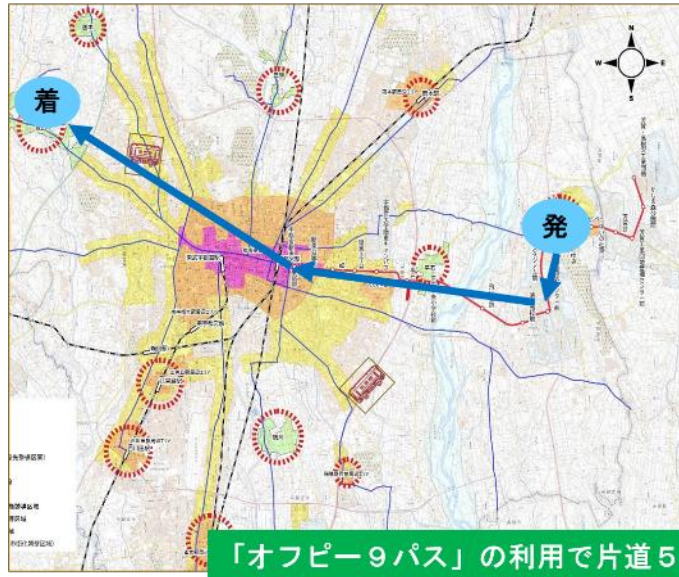
**広がるおトク!**  
 ※宇都宮駅を起点とした場合、現在400円以内で移動できるエリア

これまで400円以内で移動できたエリア

販売金額（税込）

- 磯井地区市長センター 850円
- 上野内地区市長センター 720円
- 高麗小学校前 640円
- 二倉車 500円
- 磯山地区市長センター 460円
- 東宮駅 560円
- 南高松駅 540円
- 新藤バス路線
- バス停
- 宇都宮駅まで（から）の運賃
- 磯間大前 490円
- 磯間野市長センター 490円

## 【モデルケース】 清原エリアから大谷エリアへ観光に行く場合



		詳細	通常運賃
行き	1乗車目	地域内交通 (清原TCまで)	150円
	2乗車目	ライトライン (宇都宮駅東口まで)	300円
	3乗車目	関東自動車 (大谷観音前)	530円
帰り	1乗車目	関東自動車 (宇都宮駅西口まで)	530円
	2乗車目	ライトライン (清原TCまで)	300円
	3乗車目	地域内交通 (自宅最寄りまで)	150円
		計	1,960円

「オフピークパス」の利用で片道500円（往復1,000円）で移動可能！

**<実施イメージ>**

- 認知度向上と新制度のスタートを機とした利用促進MMの実施

などを想定

# <参考> 公共交通利便性向上等の取組 (モビリティハブ, いちょう号) ②

- モビリティハブ事業は公共交通の乗継利便性の向上に資する取組であり、「乗継文化の醸成」につながるものと考えられる。
- 中央地区・築瀬地区を運行する地域内交通「いちょう号」は、一部モビリティハブ(ミライト一条, 中央卸売市場)が停留所となっていることから、一体となったMMで相乗効果を創出することが考えられる。

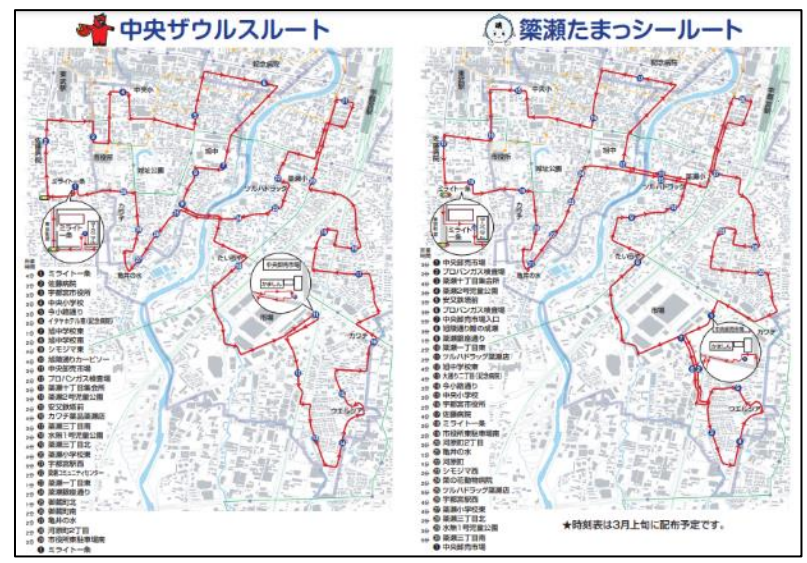


まちとひとをつなぐ、宇都宮の新しい拠点

**MOBILITY HUB**  
モビリティハブ  
ホンダカース栃木中央  
ゆいの杜店

2025.10.31 OPEN

TEL: 090-639-0160 FAX: 090-639-1430



## <実施イメージ>

- サービスを楽しむことができるが見込まれる地域・世代をターゲットとした住民MM
- 認知度向上と今後のモビリティハブ展開への反映を見据えたMMの実施

などを想定